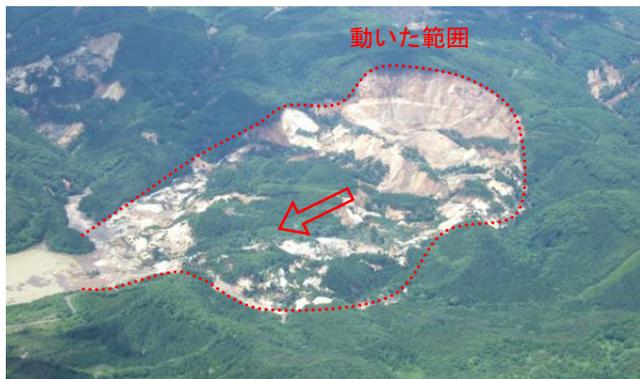


地すべり地における 挿入式孔内傾斜計計測マニュアル（案）の紹介

マニュアル(案)作成の背景

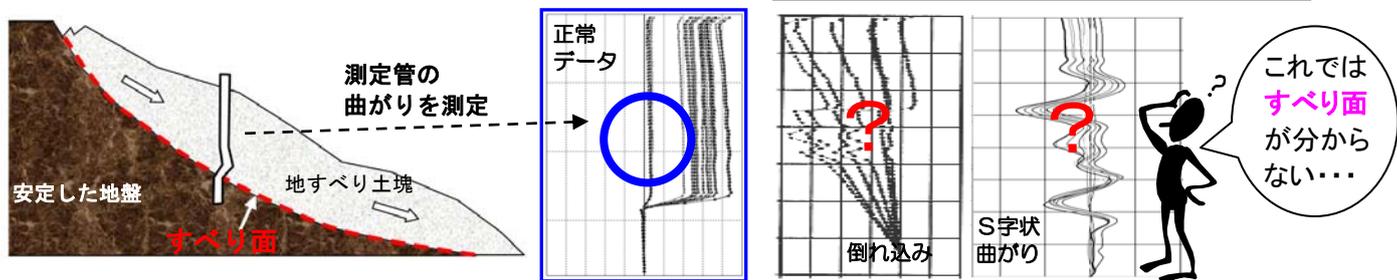


平成 20 年度 岩手宮城内陸地震で発生した岩手県栗原市栗駒の荒砥沢地区地すべり (平成 20 年 6 月 15 日撮影)

日本の各所で、大雨や地震により地すべりなどの土砂災害が毎年のように発生し、道路や住宅が被害を受けています。

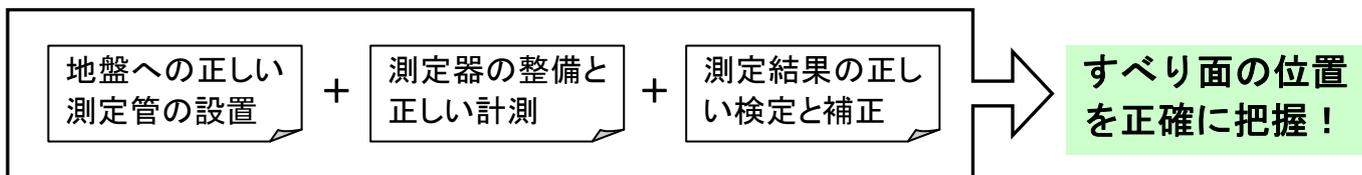
地すべりによる被害を防ぐためには、地すべりが動かないような対策をする必要があります。そのためにはすべり面の位置（地すべりが動いている深さ）を調べなければなりません。

孔内傾斜計計測で発生する不良データの例



挿入式孔内傾斜計は、地すべりのすべり面を決める際に多く使われますが、地盤の動きとは思えないデータが得られることがあります。その場合は適切な対策設計が行えません。そこで、土研地すべりチームではそのような不良データ発生予防や適切な補正を行う方法を記載した「マニュアル（案）」を作成しました。

どのような内容か？



入手方法は？

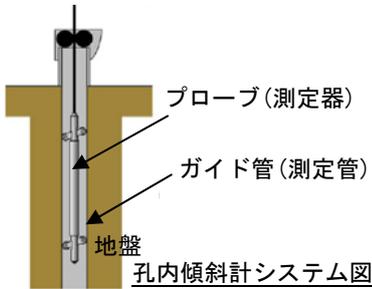
msn YAHOO! JAPAN goo
地すべりチーム 検索
「地すべりチーム」で web 検索！
または以下のアドレスを入力
<http://www.pwri.go.jp/team/landslide>
⇒ 地すべりチームトップページ



マニュアル（案）の構成

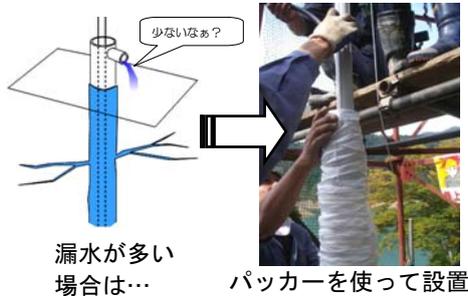
はじめに

- ・マニュアル(案)作成の背景
- ・用語の統一や解説



第1章 観測孔の設置

- ・ガイド管の適切な設置
- ・亀裂地盤でのパッカー使用



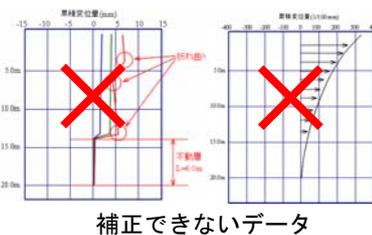
第2章 観測

- ・測定器の整備
- ・正しい取り扱いによる計測



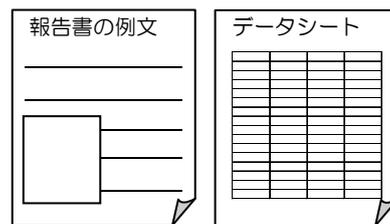
第3章 測定値の検定・補正

- ・測定値の検定
- ・倒れ込み現象の補正が可能な条件、補正方法



第4章 観測結果の報告方法

- ・報告書などへの記載



付録 解析支援ソフト(Excel)

- ・「倒れ込み」を直すソフト



倒れ込みの量が基準を超えた場合は…



再測定・計器の検定を推奨

計測器の機械誤差により「倒れ込み」現象が発生することがあります。

本ソフトは、その誤差分を補正して倒れ込みを直すものです。ただし、この補正は計測器メーカーの補償する基準内である場合に適用されます。

今後の実験データや、本マニュアル(案)の公開後に寄せられたご意見・ご要望を反映させて、平成21年度末には **挿入式孔内傾斜計計測マニュアル(正式版)** を書籍として発刊する予定です。

本マニュアル(案)は、応用地質株式会社・坂田電機株式会社・日本工営株式会社と、土木研究所土砂管理研究グループ地すべりチームとの共同研究により作成したものです。